

『多重線型代数 I』 正誤表

2025.7.13

2 刷で訂正した誤植

- 本書の構成（本編を読む前に）：裏面 13 行目：「多様体上の一般相対性理論で活用されるテンソル場」を「多様体上のテンソル場」に訂正.

- p. 183: 下から 7 行目：

$$(\alpha_1 \wedge \alpha^2$$

を

$$(\alpha^1 \wedge \alpha^2$$

に訂正.

2 刷以降に判明した誤植

- p. 118: 3 行目：

$$(a_{11}, a_{12}, \dots, a_{1n}, a_{21}; a_{mn})$$

を

$$(a_{11}, a_{12}, \dots, a_{1n}, a_{21} \dots a_{mn})$$

に訂正.

- p. 118: 6 行目：

$$|a_{ij}|$$

を

$$|a_{ij}|^p$$

に訂正.

2 刷で未修正の誤植など

- p. 22: 5 行目：

$$\rho(x, g_1 g_2) = \rho((\rho(g_1, x), g_2)) \text{ を } \rho(x, g_1 g_2) = \rho((\rho(x, g_1), g_2)) \text{ に訂正.}$$

- p. 25: 例 0.75, 最下行：“この作用は推移的である” を削除
- p. 44: 10 行目：“値 c をとる線型汎函数 γ ” を “値 c をとる函数 γ ” に修正
- p. 45: 4 行目：“上で定めた規約により $\mathbb{K}$ は $\mathbb{V}^*$ の線型部分空間とみなせる” を削除
- p. 87, 命題 1.11：

$$\forall x, y: g(P_W(x), P_W(y)) = g(x, y)$$

を

$$\forall x, y \in W: g(P_W(x), P_W(y)) = g(x, y)$$

に修正

- p. 168, 例 2.3 の 3 行目：“ $\text{Span}\{v_1, v_2\}$ が異なるならば $\text{Span}\{v_3, v_4\}$ は必ず交わる.” を “ $\text{Span}\{v_1, v_2\}$ と $\text{Span}\{v_3, v_4\}$ が異なるならば $\text{Span}\{v_1, v_2\}$ と $\text{Span}\{v_3, v_4\}$ は必ず交わる.” に訂正
- p. 246, 9 行目： $p_k^l \in \mathbb{R}$ を $p_k^l \in \mathbb{C}$ に訂正
- p. 300, 5 行目： $\wedge^2 \mathbb{V}$ を $\wedge^k \mathbb{V}$ に訂正
- p. 301：行列

$$\begin{pmatrix} 0 & 0 & 0 & 0 & 1 \\ 0 & 0 & 0 & -1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 & 0 & 0 \\ 0 & -1 & 0 & 0 & 0 \\ 1 & 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$$

を

$$\begin{pmatrix} 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 1 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & -1 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 1 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 1 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & -1 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 1 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$$

に訂正

- p. 303, 5 行目： $[e_1 \wedge e_2 \wedge \cdots e_n]$ を $[e_1 \wedge e_2 \wedge \cdots e_k]$ に訂正
- p. 304, 2 行目： $\text{Her}_n \mathbb{C} = \text{Her}_n^\circ \mathbb{C} \oplus \mathbb{C} E_n$ を $\text{Her}_n \mathbb{C} = \text{Her}_n^\circ \mathbb{C} \oplus \mathbb{R} E_n$ に訂正

誤植をご指摘いただいた塚田和美先生（お茶の水女子大学）に御礼申し上げます。
この他の誤植のご指摘，修正案，改善案を編集部宛にお寄せいただければ幸いです。